

新型コロナウイルス感染症に関する全国知事会と厚生労働省との意見交換会（概要）

- 1 日 時 令和2年3月25日（火）18：00～19：00
- 2 場 所 中央合同庁舎第5号館17階専用第21会議室
- 3 参加者 全国知事会 飯泉 徳島県知事(全国知事会新型コロナウイルス緊急対策本部本部長)
 平井 鳥取県知事(同副本部長・本部長代行)
 西脇 京都府知事(同副本部長)
 黒岩 神奈川県知事(同副本部長)
 厚生労働省 加藤 厚生労働大臣
 橋本 厚生労働副大臣
 稲津 厚生労働副大臣
 小島 厚生労働大臣政務官
 自見 厚生労働大臣政務官 他

4 概 要

(1) 全国知事会から「新型コロナウイルス感染症の医療提供体制等の整備に係る緊急提言」に基づき、厚生労働大臣に対して以下の13項目の要請を行った。

① 政府対策本部の設置及び基本的対処方針の策定

⇒ 3/26に政府対策本部設置済
 3/28に基本的対処方針策定済

② 政府による国民に対する強力な注意喚起

緊急事態宣言に至らない場合であっても、政府の責任においてアラートを出すなど住民に対して強力な注意喚起を行っていただきたい。

③ 感染状況に係る地域類型の基準について

各都道府県がどのような地域に該当するかを判断する基準を示していただきたい。

④ 国と地方の緊密な情報共有

厚生労働大臣と全国知事会のホットラインを構築していただくとともに、各地方ブロックで厚生労働省から各都道府県に対して状況等について説明すること。

⇒（加藤大臣）ブロック別の説明会を厚労省と各ブロックごとでやらせていただきたい。

⑤ 医師会や医療関係団体等に対する協力要請と合意形成

国においても責任をもって医師会など関係団体との協力体制と合意形成を進めていただきたい。

⇒（加藤大臣・橋本副大臣）医師会をはじめとした医療関係団体と協議会を開催し、協力を依頼したところ。

⑥ 入院医療提供体制の整備に向けた国の支援

患者数が大幅に増えた際の入院医療提供体制の整備に向け、医療法上の特例的な措置等のほか、国の財政的、技術的、人的な支援を行っていただきたい。

⇒（加藤大臣）1個1個責任をもってチェックさせていただきたい。何かあれば是非お願いしたい。

⑦ 医療専門人材の広域融通制度の創設

医療専門人材は地域偏在が大きいと、県域や医療圏を越えて広域融通を図る制度を創設していただきたい。

⑧ 医療現場等への供給等

サージカルマスクのみならず医療現場等での感染防御に必要なN95マスク、手指消毒用アルコール、防護服など、必要な医療機器を国が調達し供給していただきたい。

⑨ 社会福祉施設等への供給等

社会福祉施設等が必要とするマスク等の衛生用品全体について、消毒液と同様に優先供給の仕組みを示すなど、国が責任をもって調達していただきたい。

⑩ 国の財源の柔軟な適用

マスク、消毒液等の調達困難な状況に鑑み、年度をまたいだ調達や令和2年度予算の事前着手を認めるなどの措置をお願いしたい。

⇒（加藤大臣）シームレスに対応をできるように考えさせていただきたい。

⑪ イベント等の開催や事業活動を継続していく上での方針の明確化

政府として責任をもって3条件が重ならないようにとの見解は示されたが、具体的な開催可否の判断基準などが示されていない。

⇒（加藤大臣）なかなか基準を出せない。緊急事態になっても要請ベースが中心となるが、しっかりといろいろなところで様々な手段でお願いしなければいけない。

⑫ 水際対策の徹底

住所地を管轄する保健所への通報など、水際対策が徹底される実効性の高い措置を講じていただきたい。

⇒（加藤大臣）水際の関係の情報をどう流していくのか、またご相談させていただきたい。

⑬ 患者情報等の都道府県への集約化

感染が確認された患者の経過等に係る情報について、都道府県に情報が集約する仕組みを検討いただきたい。

⇒（加藤大臣・橋本副大臣・内閣官房吉田参事官）
厚労省と連携して国で一括して、共有するための仕組みを準備している。

※厚生労働省からすべての要請項目に対してコメントはなかったが、加藤大臣より「指摘をいただいた点について、一つ一つやらせていただきたい」との発言あり。